

令和6年度ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」

～ おも 想いを繋ぎ つな 想いを届ける おも とど 十七字 ～

【主催】
福島県教育委員会

会津域内入賞作品

福島県入賞作品

絆部門 最優秀賞

反抗期 入るためには 姉の許可

喜多方市立第一中学校 一年 原 心愛
自分では反抗期だと思っていないのに、兄弟達からは反抗期だと言われました。そして、姉が反抗期届けの用紙を作っていました。

妹よ 反抗期届け 出てないよ

姉 原 桜心
妹の反抗期を兄姉で祝ってやろうと思いい、反抗期届けを作ったのに妹が提出していないからです。

ふるさと部門 最優秀賞

赤がわら 七色アーチ 通り雨

会津若松市立北会津中学校 二年 菊 田 瑠 南
夕立のときに見た、鶴ヶ城の上に来た虹がとても綺麗で印象に残っていたためです。

気高さや 城を見上げる 立葵

母 菊 田 カオリ
毎年、市の花タチアオイが梅雨を迎える頃に咲き始め鶴ヶ城の側を通るたびに空に向かい色とりどり鮮やかな花を咲かせる様がお城と相まって清高に感じたためです。

絆部門 佳作

夏休み わたしの先生 お兄ちゃん

会津若松市立城南小学校 五年 大 竹 智 絢
夏休み中は、ケンカせず過ごしたいからです。

おれがまん 夏休み中は 休戦中

会津若松市立第五中学校 一年 大 竹 悠 智
夏休み中ケンカせず過ごすと思われなかつたからです。

越えたでしよ 背中を合わせ 鏡見る

会津若松市立第四中学校 一年 辻 龍 蓮
たまに母と背比べすることがあり、「もう、超したでしよ」といつもこのような会話になるので、この作品を作りました。

母の意地 超されてないと 背を伸ばす

母 辻 春 菜
何気ない日々のやりとりが愛おしく、思い出に残る作品にしたいと思い、作りました。

ふるさと部門 佳作

腹くつつ 天ぶらまんじゅう 五個ぺろり

会津若松市立城西小学校 六年 星 周 吾
会津伝統の方言や郷土料理を俳句に表したかったからです。

折詰め 天ぶらまんじゅう せがむ子等

父 星 文 隆
会津では、葬儀から持ち帰る折詰めには必ず天ぶらまんじゅうが入り、子ども達はそれが好きです。大抵一つしか入っておらず、そば屋に外食に行くところとばかりに注文します。

母の中 震災の記憶 同い年

会津若松市立第四中学校 一年 板 橋 步 叶
お母さんのお腹の中にいて、東日本大震災は実際には体験していませんが、そのころから十三年たつて同い年なんだなと思つたからです。

大地ゆれ 心ゆれても 腹は護る

母 板 橋 志 穂
東日本大震災のとき、お腹の中には息子がいました。ゆれるたびに不安になり、それでも何があつても息子は絶対に護ると考えていました。今でも話して聞かせています。

会津教育事務所入賞作品

絆部門 奨励賞

夏祭り 酔った手を引く 帰り道
酔ったふり 手のぬくもりと 夢の中
父 箕 輪 烈

パパのうで わたしの元氣 じゅうでん中
神指小 二年 栗 原 結 菜
「おかえり」と 笑顔で寄り添う 愛娘
父 栗 原 正 明

しょうぶしよう しんけいすいじやく ぼくのかち
坂下南小 二年 武 藤 凱 千
負けちゃった 上手に負けるも 母の技
母 武 藤 裕 美

空見上げ 畑の祖父を 心配す
会北中 二年 鈴 木 ま ち
空見上げ そろそろ降るか 鍵を取る
祖父 鈴 木 幸 一

只見川 霧の中から 渡し船
小金井小 六年 菅 家 風 花
渡し船 静かに進む 霧の峡(むげんきょう)
祖母 菅 家 みほ子

団体賞

- 会津坂下町立坂下南幼稚園
- 会津若松市立鶴城小学校
- 会津若松市立城北小学校
- 喜多方市立熊倉小学校
- 三島町立三島小学校
- 金山町立横田小学校
- 会津若松市立第四中学校
- 会津若松市立河東学園(後期課程)
- 喜多方市立第二中学校
- 三島町立三島中学校

団体奨励賞

- 会津若松市立謹教小学校
- 喜多方市立駒形小学校
- 北塩原村立裏磐梯小学校
- 湯川村立笈川小学校
- 金山町立金山小学校
- 昭和村立昭和小学校
- 北塩原村立裏磐梯中学校
- 会津美里町立本郷学園(後期課程)
- 昭和村立昭和中学校

ふるさと部門 奨励賞

令和6年度の会津域内の応募作品数は「絆部門」3,227組、「ふるさと部門」1,550組、「合計」4,777組でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

この令和6年度ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」の入賞作品や表彰式の様子は県教育委員会や会津教育事務所のHPでも御覧いただけます。



編集：会津教育事務所